



加須げんきプラザ 体験活動実践事例集



埼玉県立加須げんきプラザ

体験活動実践事例集の活用について

1 本資料のねらい

本資料は、施設で行う体験活動、学校等で行う出前講座の利用促進のため作成しました。小・中学校等における豊かな体験活動の充実のため、本資料を活用していただくと幸いです。作成にあたり、各種体験活動についての学校における事例を盛り込みました。また、学校において活用しやすいよう指導案形式で示しました。

2 内容について（出前講座）

- | | |
|------------------|-----------------|
| ①ドラム缶ピザづくり体験 | ②手打ちうどんづくり体験 |
| ③野外炊事体験 ※おにぎりづくり | ④野外炊事体験 ※カレーづくり |
| ⑤人間関係づくりプログラム | ⑥スマホ講座 |

3 活用に当たっての配慮事項

- ・体験活動の種類によって、プラザ側が用意するもの、学校が用意するものがありますのでご留意ください。
- ・申し込みの際は、事前に日程を電話で確認してください。日程が決まりましたら、指導依頼書を電子メールまたはファックスで提出してください。
- ・何か、分からないことがありましたら、加須げんきプラザまでご連絡ください。(TEL 0480-65-0660)

体験活動支援事業（出前講座）の実施について

1 趣旨

小・中学校や特別支援学校が行う児童生徒の体験活動を支援するため、各学校からの要請に基づき加須げんきプラザ職員等が直接会場に出向き、体験活動を実施する。

2 実施対象

- (1) 小・中学校、特別支援学校の学年及び学級単位で実施する体験活動
- (2) 小・中学校、特別支援学校の教職員、学校応援団及びP T A等を対象に実施する体験活動に関する研修会

3 実施期間

4月10日から3月25日（12/28～1/4を除く）
（日程等については、御相談ください。）※3月末は要相談

4 体験活動の内容

- (1) ドラム缶ピザづくり体験
- (2) 手打ちうどんづくり体験
- (3) 野外炊事体験（おにぎりづくり、カレーライスづくり）
- (4) 人間関係づくりプログラム
- (5) スマホ講座

5 体験活動の実施方法

- (1) 体験活動の時間は、準備及び片付けを含めて2～3時間を目安とする。（活動内容や人数に応じて前後する。）
- (2) 児童生徒等への指導は、加須げんきプラザの職員等が行う。

6 申込手続き

- (1) 講座の実施を希望する学校は、希望日の概ね1か月前までに電話で予約を行う。
- (2) 予約後、電子メールまたはF A Xで「指導依頼書（様式1）」を提出する。（野外炊事体験の場合は「野外炊事等用具利用申請書（様式2）」も提出する。）
- (3) 加須げんきプラザから決定通知書を送付する。

7 事前準備

- (1) 体験活動に要する道具類は、加須げんきプラザの備品及び実施校のものを利用する。ただし、不足する場合は、別途協議する。
- (2) 原則として、食材、食器及び燃料等については学校が用意する。

8 その他

- (1) 体験活動の実施は、9時00分から16時00分までを基本とする。

体験活動指導計画例①

- 1 活動内容 出前講座「ドラム缶ピザづくり体験」
- 2 活動のねらい
 - ・自分たちで作った野菜を入れたピザを作ることで、食に関する関心を高める。
 - ・友達と協力して取り組むことで、作る楽しさを味わわせる。
- 3 活動場所 ○○小学校 家庭科室・わくわく広場
- 4 活動人数 6年1組 35名
- 5 体験計画

時刻	段階	学習活動	○指導上の留意点
10:00	導入	①ピザの作り方について知る。 材料の名前・道具の使い方 生地の作り方	○事前に小麦粉等の材料の分量を量り、人数分に分けておく。 ○野菜やウインナーなどの材料を事前に切っておく。※子供に切らせる方法もある。 ○プラザ職員の周りに集合させ、説明を静かに聞かせる。
10:10 10:25 11:05 11:30		②生地づくりを行う。 ③生地ねかしを行う。 ※ねかせている間に具材切りをする方法もある。 ④生地のばし・トッピング ピザ焼きに取り組む。 ⑤試食する。	○説明をもとに、グループごとに生地を作るよう指示をする。(生地をこねる→丸める→伸ばす) ○丸め終わったら、生地を袋に入れ、生地をねかせておく間に、水分補給をするよう指示をする。 ○使い終わった道具は洗うよう指示をする。 ○生地を伸ばし終わったら、ソースを塗り、チーズ、野菜などのトッピングをさせる。 ○トッピングが終わった児童から、わくわく広場に置いてあるドラム缶オーブンに入れる。その際、火に近付かせないようにする。 ※職員がオーブンにピザを入れる。 ○焼き終わった児童から、家庭科室に持っていき、切り分け、「いただきます」をして食べるように指示をする。 ○焼く時間に差があるので、グループで分けて食べるようにさせる。
12:10 12:30	まとめ	⑥後片付けをする。 ⑦感想発表・あいさつをする。	○「ごちそうさま」のあいさつをしてから、テーブルごとに使った道具を片付けさせる。 ○ワークシートに感想を書き2, 3人に発表させる。

6 材料・道具

※学校で用意するもの・・・ピザ材料・薪・皿・包丁・まな板

※げんきプラザで用意するもの・・・ボウル・のし棒・のし台・ドラム缶オーブン

※あくまでも目安の時間ですので各学校の実態に応じて活用してください。

体験活動指導計画例②

- 1 活動内容 出前講座「手打ちうどんづくり体験」
- 2 活動のねらい ・小麦粉からうどんを作る経験を通して食に関する関心を高める。
 ・うどん作りを通して郷土の食文化への理解を深める
 ・友達と協力して取り組むことで、作る楽しさを味わわせる。
- 3 活動場所 ○○小学校 家庭科室
- 4 活動人数 特別支援学級 8名
- 5 体験計画

時刻	段階	学習活動	○指導上の留意点
10:00	導入	①うどんの作り方について知る。 材料の名前・道具の使い方 うどんの作り方	○事前に小麦粉等の材料の分量を量り、人数分に分けておく。(※プラザ職員が行います) ○プラザ職員の周りに集合させ、説明を静かに聞かせる。
10:10 10:30 11:00 11:10	展開	②生地づくりを行う。 (生地をこねる→丸める→踏む) ③生地ののばし方、麺の切り方について知る。 ④生地のばしに取り組む ⑤麺切りに取り組む。	○説明をもとに、グループごとに生地を作るよう指示をする。 ○丸め終わったら、生地を袋に入れさせ、生地をねかせておく間に、水分補給をするよう指示をする。 ○使い終わった道具は洗うよう指示をする。 ○ねかせている間に、職員の説明を聞く。 ○包丁の使い方には十分に注意させる。 ○切り終わったグループから、鍋に持っていき、プラザ職員にゆでてもらう。 ○鍋に近付かないよう指示をする。
11:15		⑥試食する。	○茹で上がったグループから食べるよう指示をする。 ※おおよそのゆで時間 300g 6～10分 (火力により変わります)
11:40 12:00	まとめ	⑦後片付けをする。 ⑧感想発表・あいさつをする。	○食べ終わったグループからワークシートに感想を書かせておく。2, 3人に発表させる。 ○「ごちそうさま」のあいさつをしてから、テーブルごとに使った道具を片付けさせる。

6 材料・道具

※学校で用意するもの・・・うどんつゆ・薬味等・食器具類（お椀・はし等）

※げんきプラザで用意するもの・・・うどん生地材料（うどん粉、塩、打ち粉）・ボウル・のし棒・のし台・計量カップ・麺切り包丁・さいばし、大鍋、バケツ、手持ちザル

※あくまでも目安の時間ですので各学校の実態に応じて活用してください。

体験活動指導計画例③

- 1 活動内容 出前講座「**野外炊事体験 おにぎりづくり**」
- 2 活動のねらい
 - ・飯ごう炊さん、おにぎりづくりを通して、友達と協力して取り組むことで、作る楽しさを味わわせる。
 - ・かまどの使い方、火の点け方などを習得し、林間学校に向けての意欲を高める。
- 3 活動場所 ○○小学校 校庭
- 4 活動人数 5年1組 24名
- 5 体験計画

時刻	段階	学習活動	○指導上の留意点	
10:00	導入	①野外炊事についての説明を聞く。 ・飯ごうの使い方・米とぎ ・かまどの使い方・火の点け方	○事前にかまどを設置しておく。 ○プラザ職員の周りに集合させ、説明を静かに聞かせる。	
10:10 10:20 10:30	展開	②米とぎをする。 ③かまどに点火をする。 ④炊飯をする。	○説明をもとに、グループごと分担をして作業に取り組ませる。 ○火の取り扱いには十分に気を付けさせる。 ○火が安定したら、飯ごうを並べる。	
11:00		⑤おにぎりをつくる。		○やけどに注意しながら、おにぎりをつくらせる。 ○使い終わった飯ごうは、水の中に浸すよう指示をする。
11:30		⑥試食する。 ⑦後片付けをする。		○グループごとに完成したら、食べるよう指示をする。 ○薪・かまどの片付け方についてプラザ職員の説明を静かに聞かせる。 ○グループで分担して後片付けに取り組ませる。
12:00	まとめ	⑧感想発表・あいさつをする。	○2、3人に感想を発表させる。	

材料・道具



※学校で用意するもの・・・薪・食器具類（皿等）・食材（米・おにぎりの具材等）

※げんきプラザで用意するもの・・・飯ごう・かまどセット

※あくまでも目安の時間ですので各学校の実態に応じて活用してください。

体験活動指導計画例④

- 1 活動内容 出前講座「**野外炊事体験 カレーづくり**」
- 2 活動のねらい ・飯ごう炊さん、カレーづくりを通して、友達と協力して取り組むことで、つくる楽しさを味わわせる。
 ・包丁の扱い方や簡単な調理方法を習得し、林間学校に向けての意欲を高める。
- 2 活動場所 ○○小学校 校庭
- 3 活動人数 5年2組 33名
- 4 体験計画

時刻	段階	学習活動	○指導上の留意点
11:00	導入	①野外炊事についての説明を聞く。 飯ごうの使い方・米とぎ かまどの使い方・火のつけ方 カレーのつくり方	○事前にかまどを設置しておく。 ○プラザ職員の周りに集合させ、説明を静かに聞かせる。
11:10 11:25 11:40	展開	②米とぎをする。 ③肉・野菜を切る。 ④かまどに火を点ける。  ⑤炊飯・カレーづくりをする。 	○説明をもとに、グループごとに役割分担をして取り組ませる。 ○使い終わった道具は洗うよう指示をする。 ○火の取扱いには十分に気を付けさせる。 ○火が安定したら、飯ごうを並べる。 ○使い終わった飯ごうは、水の中に浸すよう指示をする。
12:10		⑥試食する。	○グループごとに完成したら、食べるよう指示をする。 ○薪・かまどの片付け方についてプラザ職員の説明を静かに聞かせる。 ○グループで分担して後片付けに取り組ませる。
12:30 13:00	まとめ	⑦後片付けをする。 ⑧感想発表・あいさつをする。	○「ごちそうさま」のあいさつをしてから、テーブルごとに使った道具を片付けさせる。 ○2, 3人に発表させる。

5 材料・道具



※学校で用意するもの・・・薪・食器類（包丁・まな板・皿・スプーン等）・食材（米・肉・野菜・カレールー等）

※げんきプラザで用意するもの・・・飯ごう・かまどセット・鍋

※あくまでも目安の時間ですので各学校の実態に応じて活用してください。

体験活動指導計画例⑤

- 1 活動内容 出前講座「人間関係づくりプログラム」
- 2 活動のねらい
 - ・年度初めの新たな学級で、よりよい人間関係を築くためのスキルを身に付けさせる。
 - ・学級内で誰もが安心して自分の意見を言い合える集団づくりのきっかけとする。
- 3 活動場所 ○○小学校 体育館
- 4 活動人数 6年1組 30名
- 5 体験計画

時刻	段階	学習活動	○指導上の留意点
9 : 30	導入	①ビーイングを行う。 	○プラザ職員の周りに集合させ、説明を静かに聞かせる。 ○グループごとに用紙に目標を記入させる。活動中に意識をさせるとともに、振り返りで活用する。
9 : 50 10 : 10 10 : 25		展開	②であいプログラムを行う。
	③ふれあいプログラムを行う。		○仲間との絆をさらに深めるために行う。 活動例：バースデーライン、ナンバーコール など
		④たかめあいプログラムを行う。 	○意見を出し合い、協力して目的を達成する活動を通じて、相手の気持ちを理解させるために行う。 活動例：ヘリウムフープ、フラフープリレー、パイプライン、マシュマロリバー など
10 : 45 11 : 00	まとめ	⑤ビーイングによる振り返りをする。 ⑥感想発表・あいさつをする。	○目標が達成できたかどうか確認させる。 ○ワークシートに感想を書き2, 3人に発表させる。

6 道具


※学校で用意するもの・・・マイク、カラーコーン 等 (必要に応じて)

※げんきプラザで用意するもの・・・プログラムに応じた用具

※あくまでも目安の時間ですので各学校の実態に応じて活用してください。

体験活動指導計画例⑥

- 1 活動内容 出前講座「スマホ講座」
- 2 活動のねらい
 - ・スマホによるトラブル、ネット依存症にならないための心構えを理解させる。
 - ・情報モラルを理解させることで、よりよい人間関係を築くための一助とする。
 - ・保護者に参観いただくことで、家庭での教育につなげる。
- 3 活動場所 ○○小学校 教室
- 4 活動人数 5年1組 33名
- 5 体験計画

時刻	段階	学習活動	○指導上の留意点
13:45	導入	①講師の紹介をする。 ②本時のテーマについて確認する。	○何をねらいとする講座なのかを児童に理解させる。
13:50	展開	③スマホ講座を行う。 	○児童の実態を踏まえ、安全に正しく利用するために、どんなことに気をつけるべきかを考えさせる。
14:30	まとめ	④感想発表・あいさつをする。	○ワークシートに感想を書き2, 3人に発表させる。

6 材料・道具

- ※学校で用意するもの・・・マイク、PC、プロジェクター、スクリーンまたはモニター
- ※げんきプラザで用意するもの・・・講師が準備するスライドのデータ

※あくまでも目安の時間ですので各学校の実態に応じて活用してください。

指導依頼書 (加須げんきプラザが企画する体験活動)

年 月 日

埼玉県立加須げんきプラザ所長 様

所在地又は住所	
団体名 (学校名)	
代表者氏名	
連絡担当者	
連絡先電話番号	

加須げんきプラザが企画する体験活動について事前に予約しましたので、下記のとおり指導を申し込みます。

記

当プラザの施設で体験するか、出前により体験するか記入してください。

番号を選んでください	1. 加須げんきプラザで体験 2. 出前により体験
1・2	

希望する体験活動を選択 (○) して、日時や人数などを記入してください。

選択		予約した日時	人数 (人)	(出前の場合) 会場
○	手打ちうどん づくり体験	月 日 () 時 分 ~ 時 分	人数	
			うどん玉数	
	ピザづくり体験	月 日 () 時 分 ~ 時 分	人数	
			ピザ枚数	
	野外炊事体験	月 日 () 時 分 ~ 時 分	人数	
			米の分量	
	人間関係づくり プログラム	月 日 () 時 分 ~ 時 分		
	スマホ講座	月 日 () 時 分 ~ 時 分		
	ウォークラリー	月 日 () 時 分 ~ 時 分		
	地域フォト巡り	月 日 () 時 分 ~ 時 分		

御要望があれば余白に記入してください。

野外炊事等用具利用申請書

下記の調理用具類を使用したいので申請します。

年 月 日

団体名			
責任者氏名		電話番号	
利用日時	令和 年 月 日() 時 分 ~ 時 分		

No	用具名	最大貸出数	貸出希望数	備考
1	ボウル	5		開始時間までに職員が用意するので、事務室で引き取りをお願いします 返却の際は汚れを落として、定刻までに事務室にお願いします。
2	ざる	5		
3	フライ返し	9		
4	まな板	4		
5	包丁	4		
6	おたま	5		
7	しゃもじ	10		
8	バーベキュー用鉄板	10		
9	かまどセット(①下にしく鉄板 ②アングル ③あみ)	10		屋外倉庫から各自取り出してご利用ください。 返却の際は汚れを落として、定刻までに元どおりに戻すよう、お願いします。
10	飯ごう	20		
11	野外用なべ	3		
12	丸テーブル	6		
13	長テーブル	4		
14	いす	75		

- 「出前講座」による野外炊事体験やその他行事を実施しているときは、希望貸出数を用意できないこともございます。
- はし・スプーン・皿・菜ばし・ふきん・ぞうきん・洗剤・スポンジ・たわし等は各自で御用意ください。
- 食材、薪は各利用者で用意してください。
- げんきプラザは社会教育施設であることから、飲酒は禁止となっています。また、敷地及び野外炊事場での喫煙は御遠慮ください。
- ごみは放置せず、お持ち帰りください。
- 遅くとも16時30分までには受付窓口にて終了報告をし、貸し出したものの返却をお願いします。その後、プラザ職員とともに野外炊事場及び野外倉庫内の確認をお願いします。

野外炊事を希望される場合は、事前に加須げんきプラザ(TEL 0480-65-0660)にご相談ください。
「野外炊事等用具利用申請書」は、相談後、日程が決まってから使用する3日前までに御提出ください。